

令和４年度 学校評価報告書

I 教職員自己評価

A…よくできている B…できている C…あまりできていない D…できていない

四国中央市立小富士小学校

|    | 保 | 児 | 評価項目                                                                              | Ⅰ 学期 |     |    |   |      | 2 学期 |    |    |   |      | 増減   | 考 察                                                                                                                             |
|----|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------|------|-----|----|---|------|------|----|----|---|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |   |   |                                                                                   | A    | B   | C  | D | ポイント | A    | B  | C  | D | ポイント |      |                                                                                                                                 |
| 1  |   |   | 学校の教育目標の具現化のため、学年経営・学級経営など、教育実践に努めている。                                            | 30   | 70  | 0  | 0 | 3.3  | 88   | 12 | 0  | 0 | 3.9  | 0.6  | 学校の教育目標の具現化の評価がⅠ学期よりも上がっている。3学期も学校の教育目標を意識して、日常的教育実践に努める。                                                                       |
| 2  |   |   | 学習習慣・学習規律（返事、拳手、聞き方、話し方、立腰、静と動の切替えなど）の指導が継続的にできている。                               | 10   | 70  | 20 | 0 | 2.9  | 25   | 63 | 12 | 0 | 3.1  | 0.2  | 授業のUD化を意識した授業を実践することができた。ICTを日常的に活用することでもできつつある。Ⅰ学期よりも書く力や話す力を付ける活動にも積極的に取り組むことができた。                                            |
| 3  |   |   | 授業の中で、書く力や話す力を付ける活動を積極的に行い、力が付いてきている。                                             | 0    | 100 | 0  | 0 | 3    | 12   | 88 | 0  | 0 | 3.1  | 0.1  | 学年の取組を共有する場を設け、全校に広げていきたい。                                                                                                      |
| 4  | ㊸ |   | 学習でつまずきがちな児童への指導・支援を適切に行うなどし、目標が達成されている。（国語科・算数科の単元別テストの平均正答率80％）                 | 0    | 70  | 30 | 0 | 2.7  | 25   | 38 | 37 | 0 | 2.9  | 0.2  | EILSでのテスト実施にも慣れてきたが、指導改善という視点では十分に生かしきれていない。7月から12月までの同一教科で県平均との差で比較を行うこともできる。忙しい中で分析を十分行うことができなかった。学力標準調査の分析も含めて今後研修の中で検討していく。 |
| 5  | ㊸ | ㊸ | 学力向上推進計画で定めた目標値は達成できている。                                                          | 10   | 90  | 0  | 0 | 3.1  | 12   | 88 | 0  | 0 | 3.1  | 0    |                                                                                                                                 |
| 6  | ㊸ | ㊸ | 忘れ物をしないで、学習用具の準備がきちんとしてできている。                                                     | 10   | 80  | 10 | 0 | 3    | 38   | 50 | 12 | 0 | 3.3  | 0.3  |                                                                                                                                 |
| 7  |   |   | 自身のキャリアステージを意識し、求められる資質・能力の向上に努めている。                                              | 20   | 70  | 10 | 0 | 3.1  | 50   | 50 | 0  | 0 | 3.5  | 0.4  |                                                                                                                                 |
| 8  |   |   | 個別の支援計画・個別の指導計画に基づいた支援・指導を着実にやっている。                                               | 20   | 70  | 10 | 0 | 3.1  | 50   | 50 | 0  | 0 | 3.5  | 0.4  | 児童の特性に向き合い、理解して、良さや可能性を伸ばそうとする実践が行われている。                                                                                        |
| 9  |   |   | 道徳の授業において学校行事や特別活動、生活等との関連付けをしながら、道徳的な実践力が高まるように努めている。                            | 20   | 70  | 10 | 0 | 3.1  | 25   | 75 | 0  | 0 | 3.3  | 0.2  | 3学期は1年間の締めくくりなので、子どもたちが優しい気持ちで接し合えるように、引き続き授業や環境整備に努める。                                                                         |
| 10 | ㊸ | ㊸ | 友達に対し、優しい気持ちで接する児童が育っている。                                                         | 10   | 90  | 0  | 0 | 3.1  | 37   | 63 | 0  | 0 | 3.4  | 0.3  |                                                                                                                                 |
| 11 |   |   | 同和問題解決への姿勢を確立するための職員研修に努めている。                                                     | 20   | 80  | 0  | 0 | 3.2  | 63   | 37 | 0  | 0 | 3.6  | 0.4  | Ⅰ学期と比べても個々の教員が主体的に同和問題やその他の差別や偏見、いじめなどの解消に向け、研鑽を深め、対応できている。                                                                     |
| 12 | ㊸ |   | 不合理や矛盾・差別に気づき、解決していくなかまづくりに努めている。                                                 | 10   | 90  | 0  | 0 | 3.1  | 25   | 75 | 0  | 0 | 3.3  | 0.2  | 保護者啓発に当たっては、機会あるごとに少しでも同和問題や性的マイノリティをはじめその他の差別・偏見について触れ、回数を重ねていくことも大切である。                                                       |
| 13 |   |   | 家庭や地域に対して、積極的な啓発活動に努めている。                                                         | 20   | 80  | 0  | 0 | 3.2  | 50   | 50 | 0  | 0 | 3.5  | 0.3  |                                                                                                                                 |
| 14 |   |   | あいさつ・「はいっ」の返事・はきものそろえなどの指導を継続的に行い、児童に身に付いている。                                     | 0    | 70  | 30 | 0 | 2.7  | 12   | 63 | 25 | 0 | 2.9  | 0.2  | 挨拶・返事・履物そろえにはまだ課題があるが、Ⅰ学期より改善が見られる。必要に応じてその場でやり直しをさせ、できていれば称揚する等、根気強い取組を続けていく必要がある。                                             |
| 15 | ㊸ | ㊸ | 児童観察やアンケートに基づいた教育相談を実施し、全教職員による共通理解を図り、いじめ・不登校問題等の未然防止・早期発見・早期解決に努めている。           | 20   | 80  | 0  | 0 | 3.2  | 75   | 25 | 0  | 0 | 3.8  | 0.6  |                                                                                                                                 |
| 16 |   |   | 必要に応じて家庭や地域・関係諸機関と連携を図っている。                                                       | 40   | 60  | 0  | 0 | 3.4  | 63   | 37 | 0  | 0 | 3.6  | 0.2  |                                                                                                                                 |
| 17 | ㊸ |   | 廊下歩行や遊具・教具の適切な使い方、熱中症予防、不審者対応など生活安全に関する指導を適切に行っている。                               | 20   | 80  | 0  | 0 | 3.2  | 12   | 88 | 0  | 0 | 3.1  | ▲0.1 | 廊下歩行に課題が見られる。休み時間や移動教室の際に多く見られるため、教師の見守りが必要である。                                                                                 |
| 18 | ㊸ |   | 避難訓練、防災訓練など防災に関する指導を適切に行っている。                                                     | 40   | 60  | 0  | 0 | 3.4  | 50   | 50 | 0  | 0 | 3.5  | 0.1  |                                                                                                                                 |
| 19 |   | ㊸ | 中休みや昼休みには、運動場に出て友達と元気に遊ぶことができている。                                                 | 30   | 70  | 0  | 0 | 3.3  | 63   | 37 | 0  | 0 | 3.6  | 0.3  |                                                                                                                                 |
| 20 | ㊸ | ㊸ | 「早寝・早起き・朝ご飯」など健康的な生活習慣・リズムが定着するよう啓発や指導をし身に付いている。                                  | 0    | 100 | 0  | 0 | 3    | 13   | 75 | 12 | 0 | 3    | 0    | 日常的な声掛けを続けていくことで、児童の安全に対する意識を高めていく。                                                                                             |
| 21 |   |   | キャリア教育の視点に立った教育活動を実践している。                                                         | 30   | 60  | 10 | 0 | 3.2  | 50   | 50 | 0  | 0 | 3.5  | 0.3  |                                                                                                                                 |
| 22 |   |   | 情報モラルに関する指導を発達段階に応じて行っている。                                                        | 10   | 90  | 0  | 0 | 3.1  | 50   | 50 | 0  | 0 | 3.5  | 0.4  | 情報モラル教育、ICT機器の活用、校務の情報化は改善が見られる。取組の情報を共有し、さらに進めていく。情報モラル教育からデジタル・シチズンシップ教育への変換を試みる。                                             |
| 23 |   |   | タブレット、書画カメラ、大型提示装置などICT機器の効果的な活用に努めている。                                           | 50   | 50  | 0  | 0 | 3.5  | 75   | 25 | 0  | 0 | 3.8  | 0.3  |                                                                                                                                 |
| 24 |   |   | 諸行事の計画・実施・運営は適切である。                                                               | 20   | 80  | 0  | 0 | 3.2  | 63   | 37 | 0  | 0 | 3.6  | 0.4  | どの項目も評価が上がっている。組織として一丸となって学校の教育活動に取り組めたと言える。                                                                                    |
| 25 |   |   | 自分の校務分掌を果たし、教職員組織がよく機能するよう努めている。                                                  | 40   | 60  | 0  | 0 | 3.4  | 75   | 25 | 0  | 0 | 3.8  | 0.4  | 業務改善は、以前よりは上がっているが、まだ半分である。個々の努力に頼ることなく、できる改善は学校全体で取り組む必要がある。                                                                   |
| 26 |   |   | 報告、連絡、相談を確実に行之い、教育公務員としての適正な服務に努めている。                                             | 40   | 60  | 0  | 0 | 3.4  | 75   | 25 | 0  | 0 | 3.8  | 0.3  |                                                                                                                                 |
| 27 |   |   | 業務改善を意識し、超過勤務になりすぎないように仕事の効率化を図っている。                                              | 10   | 70  | 20 | 0 | 2.9  | 50   | 37 | 13 | 0 | 3.8  | 0.6  |                                                                                                                                 |
| 28 |   |   | 電話や家庭訪問、連絡カード（ノート）など保護者との連携を密にし、信頼関係づくりに努めている。                                    | 30   | 70  | 0  | 0 | 3.3  | 75   | 25 | 0  | 0 | 3.8  | 0.5  | 「学校便り」や「学級便り」で学校の様子を伝えたり、連絡ノートや電話連絡、必要に応じて家庭訪問をしたりするなど、家庭・地域との連携を図る取組を継続していく。                                                   |
| 29 | ㊸ |   | コミュニティ・スクールであることを意識して、連携が進むように自らが受容的・積極的な対応を行い、保護者等の人材開発と活用による、地域を巻き込む教育実践に努めている。 | 40   | 60  | 0  | 0 | 3.4  | 63   | 37 | 0  | 0 | 3.7  | 0.3  | 学校行事・地域行事で保護者・地域の方との交流の機会が多くあった。保護者・地域の人材活用を更に進めていく。                                                                            |
| 30 | ㊸ |   | 「学校便り」や「学級便り」等を活用し、学校の方針や活動を保護者や地域の方に理解してもらうよう努力している。                             | 40   | 60  | 0  | 0 | 3.4  | 63   | 37 | 0  | 0 | 3.7  | 0.3  |                                                                                                                                 |